

# 罪を犯した人々を赦す

新約聖書 セミナリー手引き

コリント人のように、あなたのワードの兄弟姉妹が罪を犯した人々に対して愛と赦しを深める必要がある、と想像してください。そのためビショップはあなたに、クラスや定員会の集会の始めに、赦しについて短い考えを分かち合うよう招いています。少し時間を取って、どのようなことを言うことができるかアウトラインを作ってみてください。話には、以下の内容を含めましょう。

1. 2コリント2：7-11から、語句または節を一つ以上。
2. ほかの聖句か、教会指導者の言葉。（下記のダンカン長老の言葉、またはダンカン長老が述べた聖句の一つを使うとよいでしょう。）
3. 人を愛して赦すこと、またわたしたちが救い主に近づくために、それがどのように助けになるかについての、あなた自身の考えと証。

## 赦しについて教える

七十人のケビン・R・ダンカン長老は、次のように語っています。



「きっと、ほとんどの人は赦したいと望んでいるはずですが。しかし、なかなかできないと感じています。不当な扱いを受けると、すぐにこう言いがちです。『あの人は間違っている。罰せられるべきだ。正義はどこにあるんだ。』 どういうわけか、もし自分が赦せば、正義は機能せず、その行為の当事者は罰を免れると誤解してしまうのです。

これは事実ではありません。神は公正な罰をすべての人に与えられます。なぜなら、憐れみは正義から何かを奪うことはできないからです（アルマ42：25参照）。神は愛を込めて皆さんやわたしにこのように断言しておられます。『裁きはわたし一人に任せなさい。それはわたしのすることであり、わたしが報復するからである。〔しかし、〕平安があなたがたにあるように〔しなさい。〕』〔教義と聖約82：23〕」（ケビン・R・ダンカン「赦しという癒しの軟こう」『リアホナ』2016年5月号、33-34）

- マタイ5：43-44
- エペソ4：32

末日聖徒

イエス・キリスト  
教会